

| | 審議会委員意見 | 事務局回答等 | 白書への反映 | 白書該当箇所 |
|---------------------------|--|---|---|-----------------------------------|
| 第1回 審議会 (5月29 日) | 協働に関するアンケート調査が県から来たが、団体の現状を把握するためには、県との協働だけでなく財団法人等との協働も広く対象とすべきと思う。 | 県と財団等では支援事業の性格が異なる。調査としては今後検討する。 | 今回はなし | - |
| | ボランティア活動保険加入者数の推移を把握するとあるが、きらめき財団の半額助成があっても他のNPO保険等の方が安い場合がある。ボランティア活動保険加入者数の推移だけでは不十分ではないか。 | 社協のボランティア活動保険加入者数は毎年同じ土台でカウントしており推移が把握しやすい。白書で経年変化をみるには適している。今後実態調査の中で取り上げることも検討する。 | 社協の「ボランティア活動保険加入者数」のみ記載 | 第1部2(1)「ボランティアの数」 |
| | 次の時代を担う中高生の意識調査を毎年行えないか。 | 回答せず。 | 今回はなし(来年度以降検討) | - |
| | 教育委員会の「青少年奉仕活動・体験活動」と連携したものを白書に取り入れてほしい。 | 回答せず。 | 事例や関係機関の事業等十分反映している | 第1部コラム欄での活動紹介、第2部～第5部で関係機関の事業等を記載 |
| | 内閣府認証のNPO法人についても白書に加えてほしい。 | 検討する | 意見のとおり修正した | 第5部資料編 |
| | 「白書」というと堅いイメージがある。ネーミングも含め、分かりやすく読みやすいものにしてほしい。(事務局に一任する) | 回答せず。 | ネーミングについては「白書」のままとし、写真やコラムの挿入で分かりやすいものに努めた。 | - |

| | 審議会委員意見 | 事務局回答等 | 白書への反映 | 白書該当箇所 |
|--------------------------|---|---|--------------------------|---------------------|
| 第2回 審議会 (8月6 日) | 県民活動という言葉の説明が白書においても必要ではないか。パワーアップ賞受賞団体等の活動事例の写真とともにコラム化するという方法もある。 | 時間的制約や枚数の関係もあるので、委員意見を参考に今年度可能なものと次年度以降に対応するものに分ける。 | 意見のとおり修正した(説明と活動写真の追加) | 知事巻頭言の裏ページに記載 |
| | 「ボランティアの数」の項については、活動実数なのか登録者数なのかははっきりさせないと分かりにくい。 | | 意見のとおり修正した(説明を付記) | 第1部2(1)「ボランティアの数」 |
| | 高齢福祉は高齢者福祉、障害福祉は障害者福祉と表記すべきではないか。 | | 意見のとおり修正した | 第1部3「県民活動団体の状況」 |
| | 各支援拠点の登録団体は重複登録が多いのではないか。 | | 意見のとおり修正した(重複登録についてコメント) | 第1部4「県民活動支援拠点の利用状況」 |
| | 各支援拠点(県域関係)の掲載順は総合分野のきらめき財団、支援センターを最初にもってくるべきではないか。教育関係もまとめた方がよい。 | | 意見のとおり修正した | 第2部、第3部 |
| | 施策の推進方向で「協働事業の推進」とあるが、「協働」の説明が必要ではないか。コラム化するという方法もある。 | | 意見のとおり修正した(コラム欄に記載) | 第4部 |
| | 市町村における取り組み事例は多いほどよい。大変参考になると思う。 | | 協働の事例は市町村のものを使うなどした。 | 第4部 |